

『オモテウラ』 作…岩本憲嗣

■登場人物

- 飯島哲也 (いいじまてつや・52歳・♂・国語教師・)  
竹田愛 (ただあい・22歳・♀・女優)  
森下欽司 (もりしたきんじ・♂・23歳・新人教師)  
胡桃沢八郎 (くるみざわはちろう・♂・35歳・体育教師)  
中山翔 (なかやましよう・14歳・♂・飯島の教え子)  
久保順子 (くぼじゅんこ・14歳・♀・飯島の教え子)  
飯島直美 (いいじまなおみ・48歳・♀・飯島の妻)  
飯島夏子 (いいじまなつこ・16歳・♀・飯島の娘)  
デパート店員

○中学校の教室

蝉の声の鳴り響く中飯島哲也が熱心に授業をしている。しかし私語で騒がしい。教室の中では蝉の鳴き声に混じってイビキもチラホラ聞こえている。

飯島 はい、そしたらこの歌を……久保さん読んでもらえますか。

久保 え？あ、はい。(席を立てて)『思ひつつ寝ればや人のみえつらむ夢と知りせばさめざらましを』

飯島 はい、ありがとうございます。そうですね、小野小町の有名な歌です。『夢と知っていれば覚めたくはなかつたのに……』そういった今の私達にも通ずる小町の切ない想いが詠まれているわけですが……。

教室の中の大半の生徒は寝ている。あちらこちらからイビキが聞こえる。

飯島 どうも皆さん小町の心境のようですね……はい！ではここで起きている皆さんにだけ夢に関してお話を。(小声で)テストに出ます。

教室中で起きる音、机の動く音が聞こえる。

飯島 中山君、おはようございます。

中山 あ、いや、はははは、俺寝てないっすよ。

飯島 いいんですよ。5限ですから仕方ないです。

中山 ですよね。そりゃ飯食えば眠たくもなりますよ。

飯島 で、今どんな夢を見ましたか？

中山 え？話していいのかな？

辺りから『何だよ！』『隠してるんじゃないやねえよ！』といったヤジが飛ぶ。

飯島 いいんですよ。どんな内容でもいいので聞かせてくれますか？

中山 いやね、それが凄かったんですよ。家に帰ったら部屋にAV女優が10人くらいいて、で、あんなこととかこんなこととか……。

教室中どつと沸く。『ありえねー』『馬鹿か？』などのヤジに混じり生徒の一人が『AVのことばっか考えてっからだよ』叫ぶ。

飯島 そう、それです。今の私達は誰かを思うから夢に出ると考えますよね。でも当時は逆の考えだったんです。

中山 どういうこと？

飯島 誰かに思われるとその人が夢に現れる。

中山 マジで？ってことは俺はAV女優に思われてたってことっすか？

飯島 (笑って) そうなりますね。

チャイムが鳴る。

飯島 それでは、時間ですので今日はここまでにします。

久保 起立。気をつけ……。

○中学校・廊下。

授業後でざわついている。そこに廊下を駆けてくる足音。久保がやってくる。

久保 飯島先生！！

飯島 久保さん？どうしたんですか？そんなに慌てて、らしくないですね。そもそも廊下を走るといのはよくない……。

久保 (息を切らせながら) スミマセン！！それより……さっきの授業……。

飯島 さっきの？すみません……私どこか間違つて教えてましたか？久保さんの指摘であれば私も……。

久保 そうじゃなくて！！飯島先生はどう思います？夢に出るって話。

飯島 え？（笑つて）ああ、その話ですか。……そうですね……私は小町たちの時代のそうだった考えの方が好きですけどね。

久保 ですよね！私もです！！それで……その……これを！！その……森下先生に渡してもらえますか？

飯島 手紙ですか？

久保 その、なんていうか……私は小町の考えを支持します！！

久保が走り去る。

胡桃沢 こら！！廊下を走るんじゃない！！あ！飯島先生調度いいところに。ちよつとプリント運ぶの手伝ってもらつていいですか？

○中学校職員室。

森下がスポーツ新聞を読んでいる。

森下 お？もう5限終わったのかな？面倒だなあ、部活かあ、どうせ俺がいたって何が変わるもんでもあるまいし。……はあ！？マジでか？事故つて……ええええ！？

直美がやってくる。

直美 あの……。

森下 うわっ！ちよつと勘弁してくれよ！！ショックだわ。え？死んだの？

直美 すみません。

森下 まだ見つかつてないって……ヤバイなあこりやアウトだろうな……。

直美 ロケバスが崖から転落……。

森下 そうなんですよ。俺の大好きなAV女優の……え？あああああ！！！！

直美 こんにちは。

森下 あ、どうも。その……どちら様で？

直美 飯島に用がありません。

森下 飯島先生ですか？えと、確か5限までだったからもうすぐ戻ってくると思うんですが。

直美 いや、別にいいんです。でしたらこれを渡していただけますか？

森下 はい、この封筒を渡したらいいんですね。

直美 ええ。では、よろしくお願いします。

森下 帰っちゃうんですか？じきに戻りますよ？

直美 いえ。私は……。

森下 分かった！飯島先生の奥様ですか？いつもお世話になってます。

直美 いいえ、妻ではないんです。では……失礼します。

直美が去る。

森下 妻ではない……でもって学校で会うのを躊躇うような関係のナイス熟女……。

飯島がめいっばいのプリントを抱えてやってくる。

飯島 よっこらしよつと……（息を切らせて）さすがにこの量は疲れますね。

森下 あ！飯島先生調度いいところに！！今お客さんが！！

飯島 お客さん？私にですか？

森下 ちようど今出たところなんですけど……すれ違いませんでした？

飯島 さて？なんせ前が見えないほどのプリントの束抱えてましたから。どちら様でしたか？

森下 いや、それが名乗ってくれなかったんですよ。で、これを渡してくれて。

飯島 これは……。

森下 飯島先生も隅におけないっすね。誰ですあの美人熟女。よくないなあ、奥さんにいいつけちゃいますよ。

飯島 そんなのではないです。そうだ、森下先生にもこれ。ウチのクラスの久保さんが渡してくれて。

森下 久保ってあのメガネ学級委員？なんだろう？

胡桃沢がやってくる。

胡桃沢 あ！森下！！お前なんで職員室なんかでのんびんだりんしてるんだ！！

森下 なんてって俺授業ないっすから。

胡桃沢 ん？なんだこの猥褻エロ新聞は！！そんなに裸が見たければ何故俺に一声かけない。いいか、今日の俺の上腕二等筋はすこぶる美しいぞ。ほら……。

森下 ちよ！胡桃沢せんせい、何もここで脱がないでも。飯島先生も止めてください

よ！！あれ？飯島先生？飯島先生！？

飯島 そうか……直美……すまない。

胡桃沢と森下のじゃれあう喧騒が次第にフェードアウトしていく。

飯島のナレーション 『今はとてわが身時雨にふりぬれば事のはさへにうつろひにけり』

今はもう、時雨で色が変わる樹々のように、私自身も涙に濡れて古びてしまった。あなたが以前約束した言の葉さえも変わってしまったのです……私と私の家族の間にどれだけの流れが流れたのだろう。幸せな家庭。笑顔で満ち溢れた家族。そんな約束された言葉は今となってはただの幻としか思えない。確かに……切り出したのは私だった。しかし実際にこうして本物を見ると……いい歳をして動揺をしてしまう。今日私は……妻から離婚届を渡された。

○飯島のマンション

飯島がマンションの鉄扉を開ける。

飯島 ん？鍵が開いてる？……ハイヒール？まさか！！

飯島が走って部屋に入っていく。

飯島 直美？直美なのか！？

そこには薄着で大あくびをする竹田愛の姿。

愛 (大あくびをして) はあ……ああ、おかえりなさい。

飯島 あのどちらさ……ああっ！すみません、部屋を間違え……。

愛 間違えてないよ。ここは先生の部屋。

飯島 え？いや、しかしその……あなたは……。

愛 うっそ？あれ？ひよっとして先生私のこと覚えてない？

飯島 あ、それはその……すみませんどちら様で……。

愛 ひどい！！それでも先生の教え子なのに。

飯島 私の？

愛 竹田愛。仕事は……芸能関係してます。もう10年近く昔だけど先生の教え子だよ。

飯島 竹田……さん？

愛 覚えて………ない？

飯島 ……すみません。

愛 だろうと思った。この薄情者!!

飯島 すみません。しかしその竹田さんがどうしてここに？

愛 ん？そうだな……そう、あのね、私悪い人達に追われているから匿って。

飯島 え？一体何を……。

愛 少しの間でいいの、ここに置いて。

飯島 いや、それは困ります!!

愛 やだよ、居座るよ。

飯島 本当に困ります、さあご自宅に!!

愛 だったら引っ張ってでも連れてったら？

飯島 いや、しかし、その……。

愛 どうしたの？あれ？ひよつとして先生照れてる？教え子相手に何考えてるの？

飯島 そのようなことないです!!

愛 じゃあ引っ張ってごらんよ。こういう風にさ。

飯島 (愛にひっぱられて) うわっ!!

愛 (耳元で) 先生、お願い。

飯島 ひゃ!や、やめてください!!

愛 そんな逃げなくなつたつて……つて先生!危ない!!後ろ!!本棚!!

飯島 え?あ、うわっ!!

飯島、本棚に後ろからつっこんで本棚の本が崩れ落ちる。

愛 先生!!先生!?

○飯島の夢。

夏子 お父さん?お父さん?

飯島 (目を覚まして) ん?んん……夏子?夏子なのか!?

夏子 夏子なのかじゃないよ。つたく、みつともない。

飯島 みつともないじゃない!お前……今までどこで何やってたんだ?

夏子 それはこっちの台詞。お父さんこそこんな渋谷のど真ん中で何寝転んでんの?

飯島 え?

急に辺りは渋谷の喧騒の中が変わる。

飯島 これは……。

夏子 　　ったく、娘に変に心配かけさせないでよ。大丈夫？だったらあたしは……。  
飯島 　　待て！！……父さんの質問に答えるんだ。今までどこで何してた？何で家に戻  
　　ってこない？

夏子 　　何それ？久しぶりにあつて話すことがそれ？

飯島 　　当然だろ？私も母さんもどれだけ心配してると思ってるんだ！！

夏子 　　説教は学校だけにしときなよ。聞きたくない。

飯島 　　馬鹿を言うんじゃない！！今すぐ家に戻りなさい！！

夏子 　　嫌だ。何で戻らないといけないの？

飯島 　　それは……大体だな、大体家を出て何をやらかしてるんだ？

夏子 　　なにそれ？あたしが何かやらかしてるっていうの？何やらかしてるのよ？

飯島 　　それはだな……なんていうんだ、その……。

夏子 　　いいよ、言いたいことは分かったよ。……父さん。

飯島 　　帰る気になってくれたのか？お前が戻れば家庭だって……。

夏子 　　馬鹿。

夏子、飯島に思いつきり平手打ちする。

○飯島のアパート。

愛 　　あ、やっと起きた。

飯島 　　ん？ここは……。

愛 　　痛かった？力入れすぎちゃったかな？

飯島 　　え？あ……その。

愛 　　おはよう。

飯島 　　おはようございます。あ、そ、その……私は本棚にぶつかって……えと……すみ  
　　ません、まったく覚えていないのですが……

愛 　　……した。

飯島 　　まさか……本当ですか？

愛 　　と思うなら償う意味でも私を置いて。

飯島 　　そんな無茶苦茶な。

愛 　　無茶なんて言っていないって。そうだな……あたし一張羅で着替えがないのよね。

汗かいたかった。脱いでいい？

飯島 　　あああああ、それは困ります。

愛 あ、そう。だったらさ……。

ポケットをまさぐる音。中からくちやくちやの1万円札を出す。

愛 あくあ、ポケット入れっぱなしにしてたらクシヤクシヤになっちゃった。とりあえず諭吉が3人いれば文句ないでしょ？はい。

飯島 な、なんですかこれは。

愛 昨日の晩に先生が私に支払った代金。返したげる。

飯島 え？そんな私は……。

愛 うーそ。冗談よ。とりあえずこれで着替え買ってきて。着られればなんでもいいから。あ、もちろん下着もだよ。

飯島 あのですね……。

愛 行ってらっしゃい。

○中学校職員室。

チャイムが鳴る。

森下 運が悪かったな。いいか、こういうものの取引はもったこつそりとだな。

中山 はい。で、森下先生……いつ返して……。

森下 馬鹿。いいか、これは授業に必要なものか？

中山 えと……保健体育の予習の為に。

森下 何上手いこと言ってるんだ。よし、保健体育の胡桃沢先生に『ドキ☆緊縛地獄・メイドがくれた冥土の土産』を授業で使うのか聞いてきてやる。

中山 ちよ！そんな大声でタイトル言わなくなったって……。わかった！森下先生取引しましょう。そのDVD返して下さい。代わりにこっちを献上しますから。

森下 献上ってお前な……まだ持ってたのか？いいからそっちもよこせ！！

中山 あ！ずるい！！

森下 おおっ！！お前これ……中山ああ、お前いい趣味してるじゃないか？

中山 え？あ、そうっすか？

森下 当たり前だ。しかもこれはプレミアつくかもしれないぞ。なんたって遺作になるかもしれないからな。

中山 遺作？

森下 馬鹿！！お前そんなことも知らないのかよ？新聞読めよ！書いてあったろ？事故に巻き込まれて……。



飯島があわてた様子でやってくる。

飯島 随分騒がしいですね。

森下 あ、飯島先生！聞いてくださいよ！中山が学校に『ドキ☆緊縛地獄・メイドがくれた冥土の土産』なんて持って持ってきてですね、でもって新聞を読んでなくて…。

中山 森下先生、怒る趣旨が違ってません？

飯島 そうですか。でしたら森下先生、中山君にはしっかりお灸をすえて置いてください。私は今日は帰らせてもいませんんで。

中山 え？珍しいですね？あ、ひよっとして例の熟女？

飯島 違います。そうだ、ウチのクラスの子が父母懇親会の出欠届けを出しにくるかもしれないんで、そのときは森下先生うけとっておいていただけますか？お願いします。

飯島が足早に去る。

森下 いつも一番遅くまで職員室に残る飯島先生がこんな時間に……。

中山 怪しいっすね。

森下 よし、中山、『ドキ☆緊縛地獄・メイドがくれた冥土の土産』は返してやる。その代わり俺の代わりとしてここに居残ってる。

中山 え？何で？

森下 馬鹿、出欠届け持ってきたら受け取っておけてことだよ。嫌なら返さない。

中山 ちっ。わかりました。森下先生は？

森下 謎を究明しに行く。じゃあな！！

中山 あ！ちよっと！もう一本も返して下さいよ！！

○百貨店・婦人下着売り場。

飯島 とりあえず上はトレーナーでいいとしよう。下はGパン。あと問題は……。

店員 本日セール最終日。ブラジャーとショーツのセットが1980円からとお安く納っております！！

飯島 必要……でしょうかね。仕方ない。

店員 いらっしやいませく。お探しですか？

飯島 あ、いや……はい。

店員 贈り物ですか？

飯島 あ、いや………違います。

店員 違う……。あ、そうですか、お仕事用ですか？

飯島 え？あああああ、いえ、撤回します。贈り物です。

店員 ははははは。ですよね。奥様に？

飯島 いえ？

店員 となると娘さん？

飯島 いえ。

店員 あ……………えと、おいくつくらいなの？

飯島 その……………二十歳そこそこかと。

店員 は、は、はははははは。随分お若いんですね。流行ってますものねえ。

飯島 流行ってるんですか？

店員 ええ、多分。あああ、そうなる……………サイズはどれくらいかってわかります？

飯島 (裏返って) サ、サイズですか！？あ……………えと……………ずいぶんと……………。

店員 ずいぶんと？

飯島 すこやかに育った感じですよ。

店員 ああ……………すこやかに。それはよかったですね。そうしますと……………少々お待ちいた

飯島 だけますか。

……………だからこんな売りに来たくなかったんだ。まったく……………。

森下がやってくる。

森下 お客様、こちらのアルファベットのTを模したショーツなんていかがですか。

飯島 ああ、もう何でもいいです……………って……………森下先生？

### ○百貨店・食堂。

森下 あ、お姉さん、こっち海老の天ぷらをもう一皿と瓶ビールもう一本。

飯島 まだ食べるんですか？

森下 へへへ、すいません。ご馳走さまです。

飯島 もうこれだけ奢れば十分でしょ？

森下 んなことないですよ。いやね俺も俺で先生と同じに悩んでるんです。恋愛で。

飯島 だから私のはそういうのでは……………。

森下 いいんですよ隠さなかったって。女物の服を一式に下着まで。プレゼント以外に考えられないでしょ？この前の熟女ですか？

飯島 違うと言っているのではないですか。

森下 まあまあ熱くないで。よかったですよ？俺がいなかったら下着売り場で悶絶

してましたよ。もっと感謝してもらわないと。

飯島 それは……助かりました。

森下 だったら俺の相談にも乗ってくださいよ。

飯島 相談？なんですか？

森下 先生。ラブレター貰ったことあります？

飯島 なんですか急に。

森下 僕貰っちゃったんです。

飯島 よかったじゃないですか。

森下 生徒から。

飯島 は？まさか？

森下 先生のクラスのメガネ久保。

飯島 森下先生！あなたという人は！！

森下 怒らないで下さいよ、手紙よこしたのは向こうなんですから。

飯島 で、ラブレターがどうしたっていうんですか。

森下 いや、だからですね。付き合うべきか否かってですね。

飯島 何を戯言を言っているんですか！相手は中学生ですよ。それに聖職者たる者……。

森下 また聖職者ですか？好きですね。

飯島 何がいけないんですか。とにかくそんなのは許せません。絶対に！！

森下 じゃあ、じゃあですよ。先生はラブレター貰ったこととかないんですか？

飯島 ……答える必要のない質問です。

森下 学校で話しちやいますよ。百貨店、女性モノの服、Tバック。

飯島 それは森下先生が持って来たん……。

森下 で、いつですか？

飯島 ……8年も前ですよ。

森下 え？それって僕が中学の時じゃないですか？誰ですか？何組？

飯島 違いますよ。ウチに赴任してくる1年前の話です。

森下 どんな相手ですか？

飯島 ほら、その学校は郊外の学校でして、まだいたんです。その、なんていうんです

か？眉毛を剃ってしまったってよな。

森下 ヤンキーですか？先生スケバンに告られたんですか？

飯島 私が異動するつてのを聞きつけたみたいで、急に体育館の裏に來いって。

森下 あ、お礼参りつてやつだ。で、ボコボコに？

飯島 まさか、手紙だけ渡されました。

森下 ラブレター？

飯島 どうも彼女の事を穿ってみていたようです。私の授業についてココがよかったです

こが勉強になったつてですね。

森下　へえ。人はみかけによらないんですね。

飯島　で、最後に歌は書いてあったんです。小野小町。

森下　小野小町？どんなのでしたっけ？

飯島　森下先生も国語教師ならもう少し真面目に……。

森下　冗談ですよ。美人でしょ？世界3大美女。

飯島　そういう覚え方しか出来ないんですか。

森下　で、先生は手紙だけ貰って何もせず。

飯島　当然です。だって私は。

森下　聖職者ですから。

――森下が外を見ると夕立が降っている。

森下　しまった雨だ。僕洗濯物干してるんですよ。じゃ、お会計お願いします！！

走り去る森下。

○飯島のマンション・リビング。

玄関の開く音。ズブ濡れの飯島が入ってくる。

飯島　いやぁ酷い雨です。

愛　おかえり。

飯島　すみません、たいしたものは買ってないんですけど……それは……。

愛　離婚届か……本物は初めてみたよ。

飯島　返して下さい。

愛　先生奥さんと別れるんだ。

飯島　ここで話すようなことではありません。

愛　なに怒ってるの？じゃあさ……私が奥さんになってあげようか？

飯島　なっ……何をふざけたことを……。

愛　ははははは、馬鹿みたい。……ウソだよ。本当は別れたくないくせに。

飯島　竹田さん、いい加減にして……。

愛　枕元には家族の写真……別れるにしちゃ未練タラタラだもんね。

飯島　……教え子だからって教師のプライベートに立ち入っていいことはないですよ。

愛　何で別れるの？教えてくれたら……帰ってあげるよ。

飯島　………。

愛　本だよ。………答えてくれないなら当ててあげる。……愛想つかされたんだ。

酷い奥さんだね、こんなに優しい先生のこと傷つけるなんて。きっと死んでも……

：うん、死んでも地獄に落ちるよ。

飯島 やめて下さい。……妻は悪くない。私が別れてくれと言ったんだ。

愛 なんで？……教えてくれないと帰ってあげないよ。

飯島 ……娘が帰らない。それだけです。

愛 何？家出でもしたの？

飯島 情けない話です。教師だったのに娘に家を出て行かれるなんて。

愛 それで離婚？大袈裟だね先生は。

飯島 悪い噂を聞いたんです。渋谷で娘を見かけた子がいました。娘、何をやっていた

と思います？

愛 遊んでた？

飯島 遊びにしては笑えなさすぎますよ。ドラッグってやつですか……売ってたそうです。

愛 あ、そう。たかがそんなこと？

飯島 たかがとは何ですか？

愛 いや、確かに悪いことだろうけどさ……大袈裟だよ。

飯島 大袈裟なんかじゃないです。教師の娘が薬で逮捕されたら生徒に示しがつかきません。だから……妻と娘とは一度別れることにしただけです。

娘の厄介ごとに巻き込まれない為に逃げるってわけだ。

愛 違います。そんなのでは……。

飯島 小野小町の歌であったよね。『今はとてわが身時雨にふりぬれば事のはさへにうつろひにけり』……先生もすっかりくたびれて色がかわっちゃった。がっかりだ。

飯島 何を仰りたいんですか？

愛 酷いね先生。娘を信用してないんだ。

飯島 そういわけじゃ。

愛 禁煙じゃないよね？ここ。

愛、ポケットから煙草を取りだし吸う。

愛 これ中2の時からやってるよ。私は先生見つからないようにやってたからあれだけど、男子なんかは先生見つけてはお説教してたじゃない。他人の子供にできて分の娘にできないってのは……どうなの？

飯島 タバコとは訳が違います。

愛 そうやって逃げるなら何にも言わないけどさ、ただ少しがっかりしたよ。這いずり回って娘探して説教のひとつでもすれば解決する問題なのに。

飯島 必死になって探した。

愛 本当に必死ならきつと娘の夢にでも出てるんだろうね。

飯島 え？

愛 流石に夢枕に必死な父親が出てこられたら何かしらあるって。

愛、タバコを消す。

愛 そう、嘘はいけないから最後に訂正するね。仕事、芸能関係って言ったけど……それも嘘じゃないんだけど、でも本当はね……そう、本当は私もせいしよくしゃなの。

飯島 教師だったんですか？

愛 ううん。字は違う、先生とは真裏にいる性職者だよ。性職者から聖職者に伝言です……あんまり先生の株下げないでよ。

飯島 え？

愛 じゃね。

愛がリビングを去る。飯島が愛を追う。愛が玄関の扉を開けると物凄い風が吹きすさぶ。飯島、一瞬ひるんだ後に玄関を見るとそこには誰も立っていない。

飯島 竹田さん……消えた。

### ○職員室

熱心にスポーツ新聞を読む森下。

森下 あ、おはようございます飯島先生、昨日はご馳走様でした。……あれ？飯島先生元気ないですね？わかった！不倫が奥さんにバレたとか？

飯島 ……………。

森下 相当落ち込んでますね。分かります分かります。実は僕も今朝は落ち込んでいます。これ見て下さい。

森下、飯島にスポーツ新聞を突き出す。

森下 僕の大好きなAV女優、ロケバスが崖崩れに遭って亡くなっちゃったんですよ！絶対助かっているって信じてたのに遺体発見ですって。僕……僕……。

中山がやってくる。

中山 おはようございます！あ！森下先生！！返して下さいよ！！

森下 お！また来たな！！バーカ！！遺作となってしまった以上こいつは絶対返さないぞ！！

中山 またそうやって子供みたいに！

森下 黙れ！ガキに子供扱いされたくないわ！！

中山 いいっすよ。こっちも奥の手を連れてきましたから。胡桃沢先生！！

胡桃沢がやってくる。

胡桃沢

森下先生！！聞いたぞ！なんだ？学校にエロビデオなんて持って来てるそうじゃないか！！言ったよな。そんなに裸が観たければ俺に一声かけろと！！いいかさんな軟弱な脂肪ばかりの体でなく鍛え上げられた俺のヒラメ筋を見ろ！！マジマジと見ろ！！

胡桃沢、森下に迫る。

森下 あ、ちよつとやめて下さいよ！朝っぱらから何やってるんですか！！

中山 じゃ、このDVDは返してもらいますんで。

森下 あ、お前な！！あー！！ちよ！！飯島先生も胡桃沢先生止めるの手伝って下さいよ。

飯島 仕方ないですね。

中山 あ。

飯島 中山君。これは授業に必要なものですか……。

森下 そっちかよ。

飯島 え？これは……。

中山 あ、飯島先生も竹田愛のファンなんですか？

飯島 竹田愛……。

胡桃沢 飯島先生まで何をそんな軟弱な体に見とれてるんですか！！きい！！このクソ女め！！こんな奴こうしてくれる！！

中山 あ！俺のDVD！！

胡桃沢 消しゴムはどこだ？こんな女消しゴムかけてブサイクまみれにしてくれるわ

あ！！おらあああああ！！！！

森下 ああっ！！駄目！！プレミア品が……。

胡桃沢 まずは眉毛なしの小野小町にしてくれる！！

中山 あゝあ、愛ちゃんがすっかりブサイクに……。

飯島 竹山さん。竹山愛子さん。

森下 お！飯島先生よく竹田愛の本名知ってますね。好きなんじゃないですか。でも残

飯島 念ですよ。まさか死んじやうだなんて。死ぬ？ちよつとそれ貸してください！！

飯島、森下からスポーツ新聞を奪う。

飯島 亡くなったって……ウソだ……。

飯島、走り去る。

森下 え？飯島先生！？ちよつと飯島先生！？

○飯島のアパートへの帰路。

飯島のN (走って息を切らせながら) そんなんで気付かなかったんだ……竹田さんが竹山さんだったなんて。

愛のN 残念だったな。まさか本気で先生が気付いてくれなかったなんて。

飯島のN なんで……ウソだ。亡くなったなんてウソだ。だって……。

愛のN そろそろかな。そろそろ……戻らないと。

飯島のN 私は……なんて酷いことを。彼女を気付いてあげられなかったなんて。

愛のN でもなあ。私そんなに変わったかな。そりゃ昔は眉毛なかったけどさ。

飯島のN 少し考えれば気付いたはずだ。彼女は何も変わってない。昔のままの素直で歌が好き……。

愛のN 先生はちよつと変わっちゃったかな。仕方ないのかもしれないけど。でも私は昔みたいな先生が好きだったから……。

飯島のN 変わったのは私だ。すっかり色あせてしまった。そんなことに……気付かせてくれたのは竹山さんだっていうのに。

愛のN そしたら……もう一服したら行っちゃおうかな。

愛、煙草に火をともし。

飯島 ありがとう。私なんか……私なんかの為に……私は……私は……私は……

愛、煙草を紙に押し当てて消す。



愛　　ふふふふ。くらえ根性焼きだ……ごめんね。最後にお節介焼いてって。

飯島、アパートの階段を駆け上る。

飯島　竹山さん！お願いです、居てください！私は……。

愛　　先生……じゃあね。

飯島、アパートの鉄扉を開く。同時の強い風が吹きつける。

飯島　……いない……ですよね。当然ですよね。ん？あれは……。

飯島、落ちていた離婚届を拾う。

飯島　これは……離婚届……私の捺印が……タバコ？

飯島、離婚届をくちやくちやに丸める。

飯島　……ありがとう。竹山さん。……『思ひつつ寝ればや人のみえつらむ夢と知りせばさめざらましを』……夢で……せめてあなたの夢までお礼を言いにかがいますね。竹山愛子さん。

【終】　　開け放たれた鉄扉から絶え間なく風が吹きつける。

### ※ご利用上の注意※

- ・ 本脚本はどなたでも無料にてご利用いただけます。
- ・ ご利用に当たつての変更などに制限は設けておりません。皆様のご都合に応じて自由に改変頂いてかまいません。
- ・ 本脚本をご利用頂く際は必ず作者 (gumba127@hotmail.com) までメール報告頂けますようお願い致します。
- ・ 但し、練習での使用などの場合はご連絡の必要はございません。
- ・ 連絡が必要かどうかの基準は以下の通りでございます。

### ※連絡不要の場合

- ・ 仲間で集まつての練習でのご利用。
- ・ Skype などを紹介しての第三者の聴取・視聴が出来ない形でのご利用。

※連絡が必要となる場合

- ・ ツイキャスやニコ生など第三者の聴取・視聴が可能な状況下でのご利用。
- ・ 連絡を要する形でのご利用の際は、必ず作品名・作者名をどちらかに記載いただけますようお願い致します。

その他ご不明な点ございましたらお気軽に下記までご連絡下さい。

[sunba1227@hotmail.com](mailto:sunba1227@hotmail.com) (岩本)